

介護保険利用 493 万人、3 年連続で最多更新 10 年度給付費調査

厚生労働省が 8 月 4 日に発表した 2010 年度介護給付費実態調査によると、介護保険サービスを 1 年間に 1 度でも利用した人の数は前年度比 24 万 1,200 人増の 492 万 8,200 人で、過去最多を 3 年連続で更新した。厚労省は「高齢化の進展による自然増が要因」と見ている。

利用者の内訳は、介護サービスが 22 万 5,100 人増の 401 万 5,800 人、介護予防サービスが 9 万 2,200 人増の 121 万 9,100 人（重複を含む）。

サービス種類別では、居宅サービス利用者の伸び（約 21 万人）が施設サービス利用者の伸び（約 1 万

6,000 人）を大きく上回る。地域密着型サービスの利用者数は 3 万 5,400 人増えたが、その内訳は小規模多機能型居宅介護が 1 万 3,300 人増、グループホームが 1 万 2,800 人増だった。

利用者 1 人当たりの費用は月額 15 万 5,800 円（11 年 4 月審査分）で、前年同月分より 1,500 円減った。都道府県別で見ると、介護サービスは沖縄の 21 万 600 円が最も高く、高知の 20 万 6,800 円、石川の 20 万 2,400 円、佐賀の 20 万 2,200 円がそれに続いた。（福祉新聞・2540 号 2011 年 8 月 15 日）